

# 「特に優れた業績による返還免除」募集要項

## 制度概要

大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または半額を返還免除する制度です。

学問分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価し、学生の学修へのインセンティブ向上を目的としています。

貸与終了時に大学に申請し、大学から推薦された方を対象として、日本学生支援機構の業績優秀者奨学金返還免除認定委員会の審議を経て決定されます。

## 申請期間・申請資格

※博士前期課程・博士後期課程・専門職学位課程 共通

<b>申請期間</b>	<p><b>2025年2月7日～2月20日</b></p> <p>指定期間中に必要書類を WebClass により奨学支援担当へ提出ください。指定期間外の提出はできません。 ※2024年9月に修了した方は別途提出方法を案内しますので奨学支援担当に連絡願います。</p>
<b>申請資格</b>	<p><b>2024年度中（2024年4月～2025年3月）に大学院第一種奨学金の貸与が終了する者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍する課程を修了したかどうかにかかわらず、貸与を修了した年度にのみ申請資格があります。</li> <li>・返還免除内定者で今年度貸与終了となる方は、必ず申請してください。</li> <li>・2025年3月に満期となる他、2024年度中に退学、または貸与を辞退する場合も今年度しか申請することができません。留年等により2024年度中に満期となったが引き続き在学する方も同様です。退学・辞退して返還免除を申請する場合、返還免除申請とは別に辞退の異動届を提出する必要がありますので、奨学支援担当窓口へお越してください。</li> </ul>

## スケジュール

2025年1～2月 申請期間

2025年4月下旬以降 学内選考結果通知 ※学内選考を通過しなかった方のみ、大学から郵送にて結果を通知します。

2025年7月下旬以降 返還免除認定結果通知 ※JASSO から直接、郵送にて結果が通知されます。

★注意…返還免除認定結果通知が交付される前に、奨学金の繰上返還を行わないでください。

## 提出書類

申請期間中に WebClass から提出いただきます。 ※2024年9月修了者は奨学支援担当に問い合わせください。

・様式1「業績優秀者返還免除申請書」…様式ダウンロードはこちら▶

・特に優れた業績を証明する資料…資料番号を付すこと



データで提出いただきます。様式1はExcelのままで提出、その他の証明資料として提出可能なのは拡張子がpdf、docx、xlsx、pptx、ods、odt、jpg、pngであるものに限ります。なお、成績証明書の添付は不要です。

★WebClassからの提出 コース「JASSO 返還免除」のレポートとして提出書類のデータを zip ファイルで送信

※あらかじめコースが登録されていない方は奨学支援担当へ連絡ください。

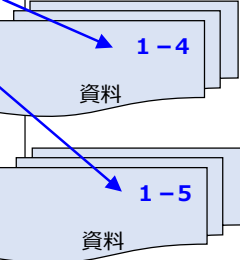
- ・提出された資料に不備があった場合などに奨学支援担当から連絡することがあります。
- ・申請期間中のみ提出可能です。資料の追加・差し替えを考慮し、提出できるのは2回にしてあります。再度提出を希望する場合は奨学支援担当へ問い合わせください。申請期間が経過したのちは各研究科に相談願います。
- ・2024年9月修了者については WebClass が利用できないため、別途提出方法を案内しますので問い合わせください。なお、2024年度中に退学した方は WebClass を利用可能です。

提出書類に関する諸注意事項

◆様式1「業績優秀者返還免除申請書」記入例

業績の種類		資料番号
1 学位論文 その他研究論文	学位論文 必要項目：①申請者名 ②論文タイトル 例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」	1-1
	研究論文 査読付き原著論文 必要項目：①申請者名(著者名)②論文タイトル③発表年④論文内容の概要⑤学術雑誌等名⑥学術雑誌発行年 例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」③2024年 ④資料1-2参照 ⑤「令和6年度〇〇学会誌」⑥2024年	1-2
	研究論文 必要項目：①申請者名(著者名)②論文タイトル③発表年④論文内容の概要⑤学術雑誌等名⑥学術雑誌発行年 例：①機構太郎、奨学花子 ②「(論文タイトル)」③2025年 ④資料1-3参照 ⑤「令和7年度〇〇学会誌」、⑥2025年3月(予定)	1-3
	学会での発表 必要項目：①申請者名(発表者名)②題目③会議名④発表年⑤表彰、受賞等 例：①機構太郎 ②「(題目)」③令和5年度〇〇学会定例会 ④2023年 ⑤表彰、受賞なし	1-4
	学会での発表 必要項目：①申請者名(発表者名)②題目③会議名④発表年⑤表彰、受賞等 例：①機構太郎 ②「(題目)」③令和6年度〇〇学会定例会 ④2024年 ⑤優秀ポスター賞	1-5
日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退 必要項目：①申請者名 ②年度 ③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例：①機構太郎 ②2024年 ③特別研究員採用		
2 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果 ※修士課程の学生のみ対象 必要項目：①申請者名 ②研究の成果 例：①機構太郎 ②修士制作「(タイトル)」		
3 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果 ※修士課程の学生のみ対象 必要項目：①申請者名 ②試験及び審査の結果 例：①機構太郎 ②修士課程修了試験合格証明書		
4 (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く) 必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「(タイトル)」 ③資料参照 ④2025年		
5 (専攻分野に関連した)発明 必要項目：①申請者名(発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは登録日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2025年X月X日 ③特許番号 XXXXXXXX		
6 (専攻分野に関連した)授業科目の成績 必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2023年～2025年	6-1	
7 (専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎1」でティーチング・アシスタントを担当。 ③2024年	7-1
	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②奨学大学〇〇研究室の「(プロジェクト名)」においてリサーチ・アシスタントを担当。 ③2024年～2025年	7-2
8 (専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績 必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回〇〇コンテスト ③2024年 ④最優秀賞		
9 (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績 必要項目：①申請者名 ②競技会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回全国〇〇競技大会 ③2025年 ④3位入賞		
10 (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「夏休みプログラミング教室」 ③2024年	10-1
	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「〇〇市XX事業ボランティア」事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2025年	10-2

対応する各資料には、それぞれ資料番号を付します。【業績項番】-【枝番】としてください。

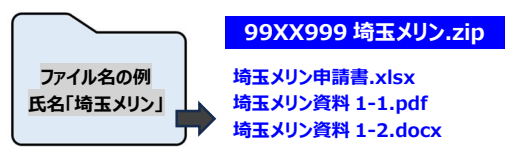


成績証明書は大学で添付しますので提出不要です。

<b>◆業績を証明する資料：共通事項</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各資料のファイル名に、様式1「申請書」の記載に対応する番号を付してください。また、枝番ごとに1資料としてください。</li> <li>各資料はページ数に制限があります。業績により上限ページ数が異なります。上限ページ数を超過した分は大学で削除して審査します。</li> <li>カラー/モノクロの別や資料のサイズは問いません。資料として判読可能かどうかにより適宜判断ください。</li> <li>業績を証明する資料としては、以下の<b>必要項目</b>が含まれるものを提出してください。</li> <li>資料は申請者の姓名がわかるものを提出してください。(姓のみは不可)</li> </ul>		
<b>◆学位論文その他の研究論文（および学会での発表）</b>	<b>資料番号 1-X</b>	<b>上限 各4ページ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学位論文…<b>申請者名、論文タイトル、論文内容の概要</b> ※論文内容の概要が複数ページに渡る場合には、1ページ目のみ提出してください。</li> <li>その他の研究論文…<b>申請者名（著者名）、論文タイトル、論文内容の概要、発行年月及び学術雑誌名</b></li> <li>学会での発表…<b>申請者名（発表者名）、題目、会議名、発表年月、表彰・受賞等</b> ※共同発表で代表者名等しか記載されていない場合は、申請者本人が参加しているかどうか不明です。申請者本人を含んでいる参加者リストなどを添付してください。</li> <li>日本学術振興会の特別研究員に採用または民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退 …<b>申請者名、年度、特別研究員採用または競争的資金獲得情報</b> ※特別研究員審査結果通知書または民間財団等が公募している競争的資金に係る証明書等</li> </ul>		
<b>◆博士前期課程：学位論文以外での申請</b>	<b>資料番号 2/3-X</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学院設置基準第16条に定める特定の研究の成果…<b>申請者名、研究の成果</b></li> <li>大学院設置基準第16条の2に定める試験および審査の結果…<b>申請者名、試験および審査の結果</b></li> </ul>		
<b>◆著書、データベースその他の著作物</b>	<b>資料番号 4-X</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<b>申請者名（著者名）、著書・データベース等タイトル、著書・データベースの概要、発行年月</b>		
<b>◆発明</b>	<b>資料番号 5-X</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<b>申請者名（発明（考案）者名）、特許に関する項目</b> ※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分がわかるもの。出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等の記載があるもの。団体での出願の場合は、申請者名が確認できるもの。		
<b>◆授業科目の成績</b>	<b>資料番号 6-2～</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<b>申請者名、発行年月、外部試験に合格したことがわかるもの又は外部試験の得点がわかるもの</b> ※成績証明書は大学で添付します（資料6-1）ので提出不要です。それ以外に成績を証明するものがある場合のみ提出してください。		
<b>◆研究又は教育に係る補助業務の実績</b>	<b>資料番号 7-X</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<b>申請者名、業務内容及び実績、年度</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>TA、RA等の業務の実績を証明するもの…（例）TA・RA等の通知書または出勤簿の写し、業務を依頼した教員が証するもの</li> <li>謝金の支給を受けていたことを証明するもの…（例）出勤表・実施報告書等の写し、業務を依頼した教員が証するもの</li> </ul> ※謝金支払の関係書類について問い合わせは <b>経理課学部等担当</b> へ（TEL 048-858-3935）		
<b>◆芸術の発表会、スポーツの競技会における成績</b>	<b>資料番号 8/9-X</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<b>申請者名、発表会・競技会名、開催年月、成績</b>		
<b>◆ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績</b>	<b>資料番号 10-X</b>	<b>上限 各3ページ</b>
<b>申請者名、活動内容及び実績、年度</b> ※写真や新聞記事など、申請者が参加したか等の確認が取れないものが証明書類として提出されることがあります。これらは不備となりますので、申請者本人が参加されたことが分かる書類の提出をお願いします。ボランティア活動の場合、活動を依頼した教員やボランティア団体の代表等が証するものでも構いません。		

**★重要★ ファイル名について**

- 様式1（返還免除申請書）…「氏名」+「申請書」
- 業績を証明する書類…「氏名」+「資料」+「資料番号」
- zipファイル…「学籍番号」+「氏名」






※上記の指示に従い、制限内のページ数で資料を作成し適切なファイル名を付してください。提出書類に不備があった際は大学から連絡いたします。速やかに再提出・訂正できない場合は審査対象外となりますので御了承ください。

Q&A

Q1	大学院在学中の業績であれば、その期のものであっても評価の対象となりますか？	A1	本制度では貸与期間中に挙げた業績が評価の対象となります。例えば1年次に奨学金の貸与を受けず2年次で奨学生となった場合は2年次の業績のみ評価の対象となります。また、博士後期課程の学生は、博士前期課程在籍中に挙げた業績は評価されません。
Q2	論文掲載の審査結果待ちである等、申請時点では未確定の業績については申請できますか？	A2	未確定の業績は「審査中」、「見込み」等として様式1の申請書に記載いただくことは可能です。確定しだい速やかに業績を証明する書類を提出ください。ただし、各研究科での審査が終了していない場合に限りです。審査終了後に提出のあったものは評価できません。
Q3	改姓等により氏名の変更が生じました。申請書にはどのように記載したらよいですか？	A3	新姓と旧姓を併記するようにしてください。なお、通名の場合も同様です。 例：旧姓「埼玉」 新姓「大学」 名「メリン」 → 大学（埼玉）メリン
Q4	休学による奨学金休止期間中の業績は評価の対象となりますか？	A4	休学により奨学金の貸与を休止していた期間も貸与期間に含まれるため、休止中に挙げた業績も評価の対象となります。
Q5	選考結果の通知はどこに届きますか？また、4月から転居予定ですがまだ住所が決まっていません。住所変更の手続きはどのように行いますか？	A5	学内の選考に受からなかった方は、申請時に WebClass から入力いただいた住所宛に郵送にて結果を通知します。4月以降も確実に届く住所を入力願います。返還免除認定を受けた方は、結果通知が JASSO から直接郵送されます。JASSO からの通知は、2025 年 6 月時点でスカラネットパーソナルに登録されている本人住所宛に届くため、転居した場合は各自でスカラネットパーソナルより住所を変更してください。
Q6	指導教員からの推薦書等は必要ですか？	A6	申請時に推薦書等の提出は不要です。学内での選考と同時に、各指導教員が推薦理由書を作成します。申請する学生から教員へ、推薦書の作成を依頼する必要はありません。
Q7	返還免除を申請する場合は、返還のための口座振替の手続きは必要ですか？	A7	必要です。返還免除を申請する場合でも必ず口座振替（リレー口座）の加入手続きを行ってください。申請時にリレー口座が未登録の方は直ちに手続きください。詳細は「返還のてびき」を参照願います。
Q8	返還免除となった場合、今まで支払ってきた機関保証料はどうなりますか？	A8	機関保証制度の加入者が全額免除となった場合は、返還完了となりますので、保証料が一部返戻されます。半額免除の場合は、残額の返還を完了した後に、保証料が一部返戻されます。なお、原則、保証料の振込先は、振替用口座（リレー口座）となります。

参考 URL

	<b>特に優れた業績による返還免除の手続き [JASSO]</b> <a href="https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/">https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/</a> 返還免除制度の概要はこちら。評価を行う業績の種類・基準についても説明されています。
	<b>返還のてびき [JASSO]</b> <a href="https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/flow/tebiki.html">https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/flow/tebiki.html</a> 奨学金返還に関する諸手続きが説明されています。
	<b>学生生活支援室「奨学支援」のページ [埼玉大学]</b> <a href="https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/">https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/</a> 埼玉大学での JASSO 奨学金関係の手続案内はこちらに掲載いたします。

問い合わせ

埼玉大学 学生支援課 奨学支援担当係

- ・電話番号…048-858-3033 [平日 8:45～12:15、13:15～17:00]
- ・窓口…学生センター 1F [平日 8:45～16:45]